

「ゼロカーボン北海道」 が創る地域の未来



ZERO CARBON
HOKKAIDO

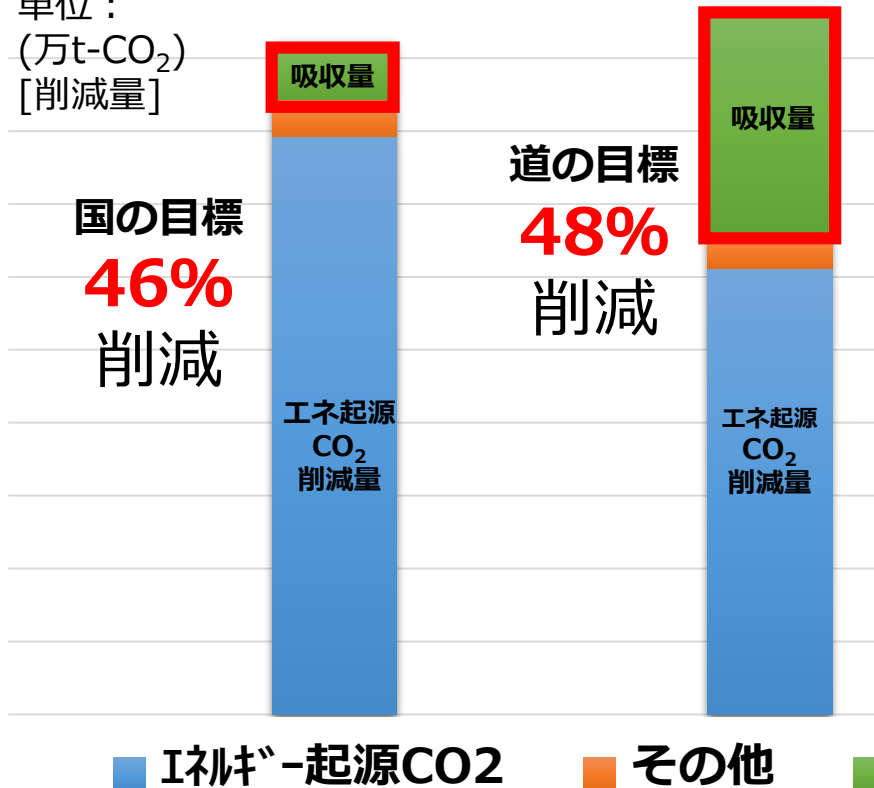
令和5年4月
北海道知事 鈴木 直道

再エネのポテンシャルが全国随一

- **風力**発電 **全国 1 位**
- **太陽光**発電 **全国 1 位**
- **中小水力**発電 **全国 1 位**
- **地熱**発電 **全国 2 位**

中期目標(2030年度) 2013年度比

単位：
(万t-CO₂)
[削減量]



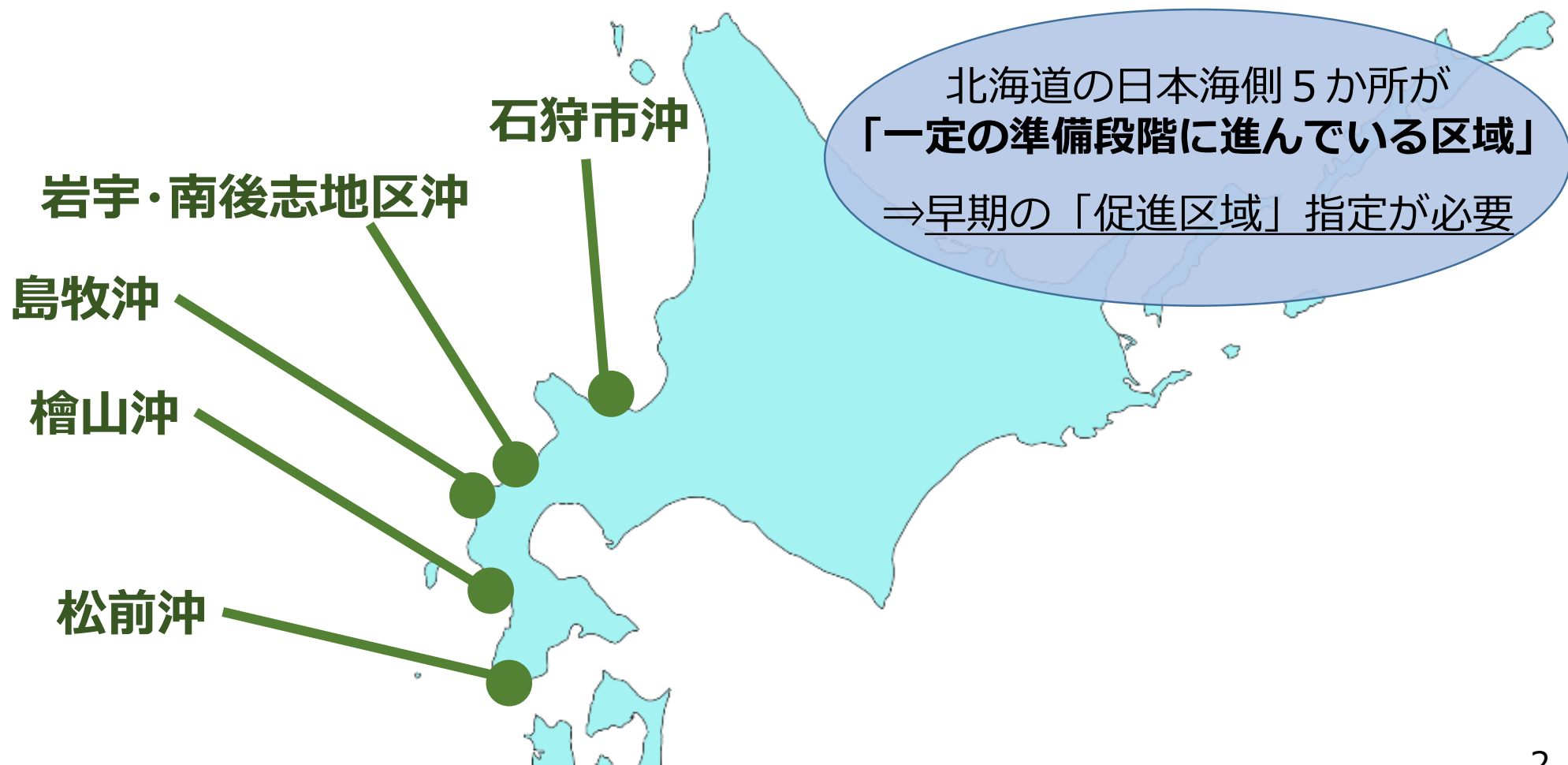
国の強い連携

- **骨太の方針2021・2022**に明記
- **国・北海道に「ゼロカーボン北海道」**タスクフォース

2. 「ゼロカーボン北海道」のポイント

① 洋上風力の推進と海底送電ケーブルの整備

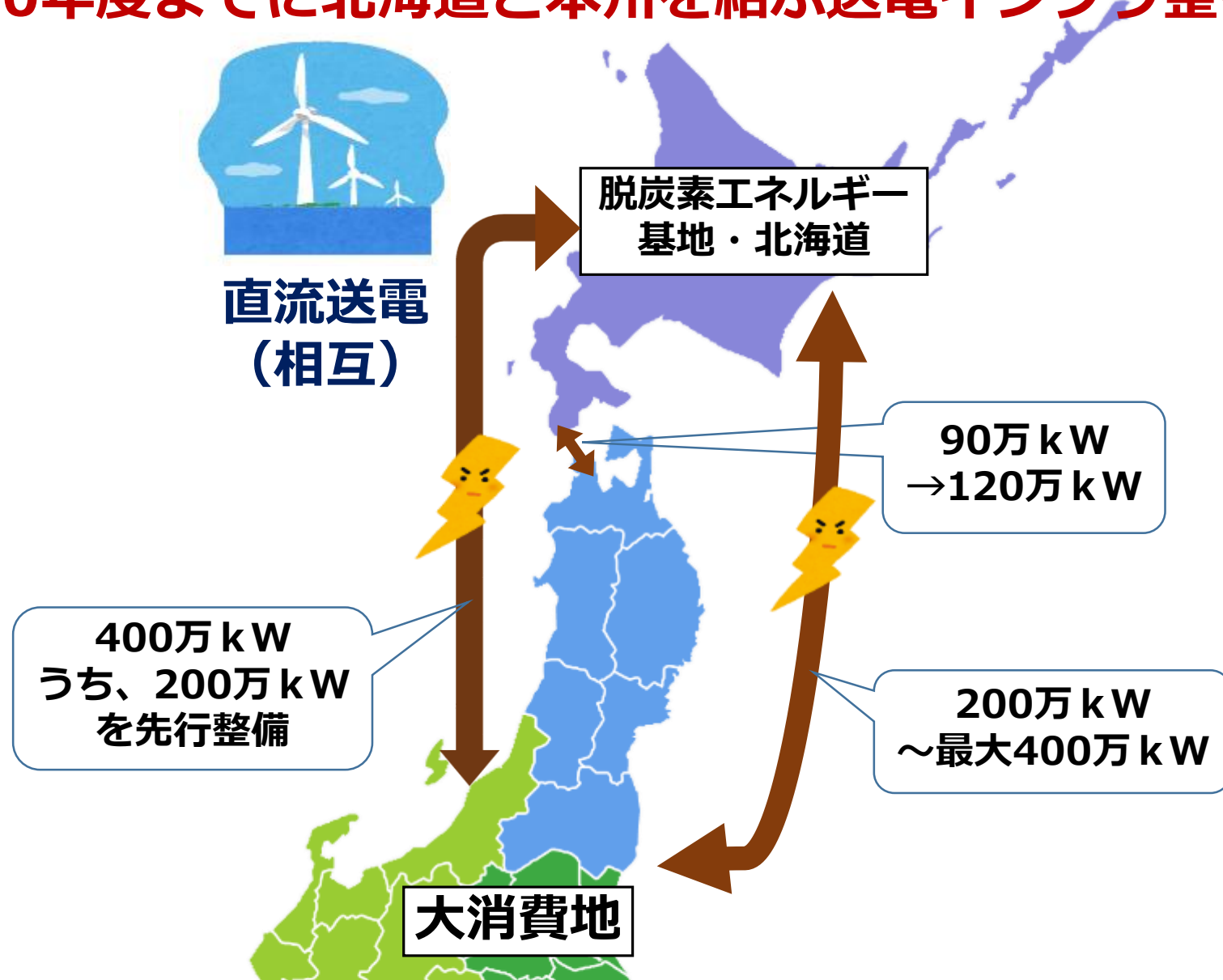
- 北海道は、風況が良く、洋上風力発電のポテンシャルが大きい



2. 「ゼロカーボン北海道」のポイント

② 洋上風力の推進と海底送電ケーブルの整備

- 2030年度までに北海道と本州を結ぶ送電インフラ整備を実現



2. 「ゼロカーボン北海道」のポイント

②再エネ産業の集積（データセンターと海底通信ケーブル）

●北海道の優位性

- ・ 冷涼な気候
- ・ 豊富な再エネ
- ・ 同時被災リスクの低さ
- ・ 欧米との地理的近接

石狩市

再エネ100%を活用した
データセンターの集積

重点エリア

札幌市

I Xなど、通信ネットワーク拠
点、データ関連企業の集積

千歳市

次世代半導体

苫小牧市

国際海底ケーブルとの接続
大型データセンターの展開

日本海側と太平洋側からの
海底ケーブル接続による
国内外のネットワーク強化

2. 「ゼロカーボン北海道」のポイント

③再エネ産業の集積（次世代半導体）

水

人

北海道大学
Global Vision 2050

北海道大学

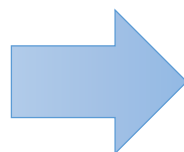
エネルギー

再エネポテンシャル全国第一

壮大なチャレンジに
北海道もパートナーとして
一緒に挑戦

最先端・最高水準の
半導体を
北海道から世界へ

2025年
試作ライン完成



2020年代後半
量産製造開始

2. 「ゼロカーボン北海道」のポイント

④再エネ産業の集積 (CCUS※の事業化)

※CCUS：CO2回収・有効利用・貯留

- 出光興産・北海道電力・JAPEXの3社は、北海道・苫小牧エリアでCCUSの事業化に向けた共同検討を開始（本年1月）

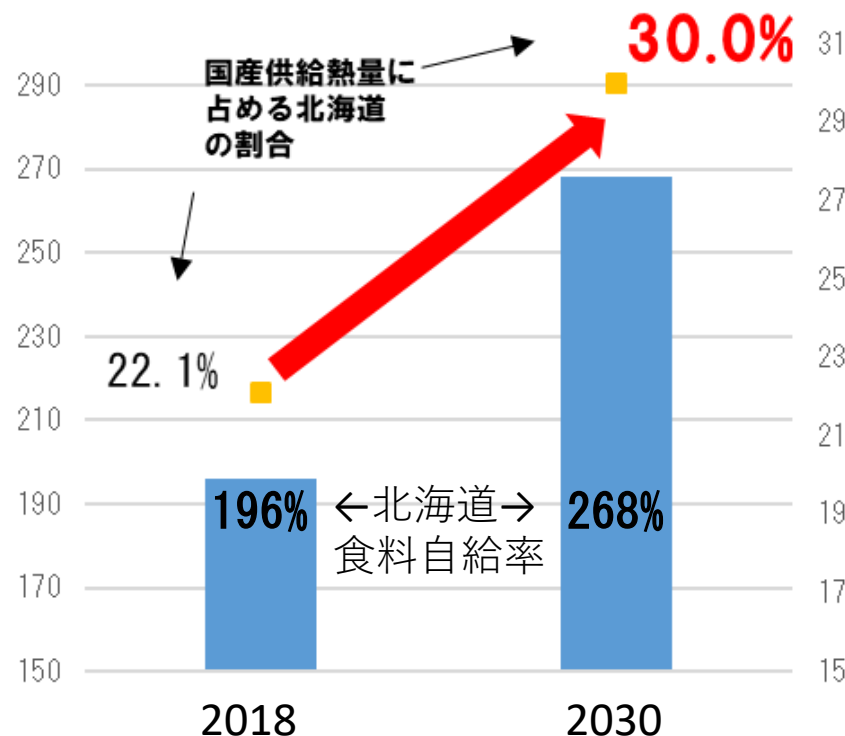


2. 「ゼロカーボン北海道」のポイント

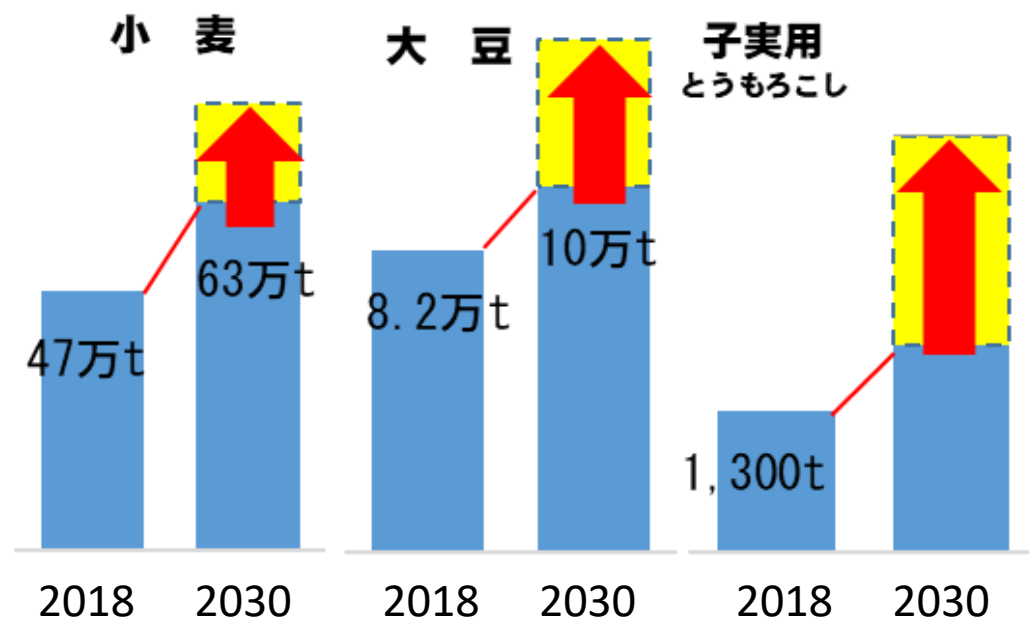
⑤農林水産業を通じた貢献（CO2吸収）

- 2030年度までに国産供給熱量に占める割合を30%まで向上
- 骨太の方針
食料安全保障の強化・農林水産業の持続可能な成長の推進

【食料自給率の向上】



【穀物の増産】



2. 「ゼロカーボン北海道」のポイント

⑤ 農林水産業を通じた貢献 (CO2吸収)

● 圧倒的スケールの農業・森林・水産資源を活用し脱炭素を加速

農 農業分野での脱炭素の推進

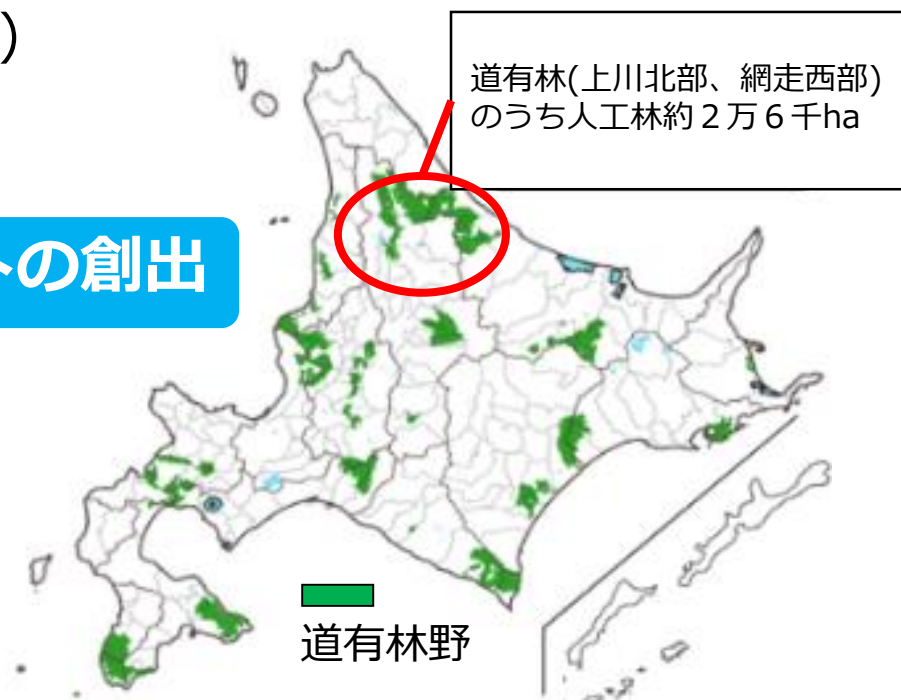
- 「カーボンファーム推進協議体」(仮称)の立ち上げ(予定)

林 道有林を活用した森林クレジットの創出

- 創出量は8年間で約58万トン
- ノウハウを道内市町村にも展開

水 ブルーカーボンの推進

- 「ブルーカーボン推進協議会」の立ち上げ(昨年11月)



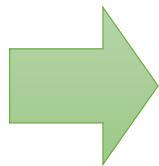
「ゼロカーボン北海道」や脱炭素と成長(GX)の加速化

新たな「基金」を設置



中長期的な視点で、脱炭素に資する地域づくりや人材育成などに取組に充当

環境金融機能の強化



三菱UFJ銀行等の金融機関との連携

「ゼロカーボン北海道」 が創る地域の未来



ZERO CARBON
HOKKAIDO

エネルギー

デジタル

食